

2022年2月3日
日研トータルソーシング株式会社

「関東テクノセンター」稼働開始 製造装置・産業ロボット・マテハン機器などの設備保全エンジニアの育成強化 最先端物流拠点 GLP ALFALINK 相模原に開設

日研トータルソーシング株式会社（本社：東京都大田区）は、このほど、製造装置・産業ロボット・マテハン機器などのメンテナンス業務を担う設備保全エンジニアの育成強化を図るため、自社研修施設「関東テクノセンター」を最先端物流拠点「GLP ALFALINK 相模原」に開設いたしました。主に関東エリアにおける技術系人材の育成に取り組むとともに、E コマース（電子商取引）需要の高まりを背景に自動化・効率化が進む物流関連向けの設備保全エンジニアの育成にも注力していく方針です。



GLP ALFALINK 相模原（写真左）内の約400坪のスペースに関東テクノセンターを開設！

■背景について

現在、アフターコロナを見据えてあらゆる産業分野でDX化（デジタル・トランスフォーメーション）が進んでおり、製造業も例外ではありません。少子高齢化による人材不足などを背景に、半導体、自動車、食品などでも工場のDXが進み、製造ラインを自動化・最適化した「スマート工場」なども次なる成長ステージへの推進力として期待されています。このスマート工場化が進むことで、設備の不具合や故障の予兆を事前に検知してメンテナンスする手法「予知保全」の精度がさらに向上する一方で、スマート工場化による生産設備の点検や整備などのメンテナンス業務を担う人材の育成・確保が課題となっています。生産ロスに直結する設備の故障を防ぎ、安定稼働に貢献する設備保全エンジニアへの期待が高まっています。

■自社研修施設「テクノセンター」について

弊社ではこのようなニーズに応えるため、業界に先駆けて自社研修施設「テクノセンター」（全国10施設）を立ち上げ、設備保全に適応したスタッフの育成に着手してきました。未経験者を対象とした研修期間は30日で、クライアントの要望を踏まえ磨き上げた独自の研修マニュアルを使用します。研修生たちに設備保全の基礎を習得してもらうほか、現場仕様の製造ラインなども用意し、実践さながらの環境を整えています。さらに新入社員をベテラン社員に帯同させて派遣するOJT制度も設けています。このほかテクノセンターでは、新卒エンジニアやキャリアチェンジやスキルアップを目指す当社スタッフを対象とした研修なども行っています。

■ 関東テクノセンターについて

関東テクノセンターは、製造装置・産業ロボット・マテリアルハンドリング機器等の設備保全エンジニアの育成拠点として、昨年完成した最先端物流拠点「GLP ALFALINK 相模原（以下、GLP 相模原）」（神奈川県相模原市中央区田名字赤坂 3700-1 GLP ALFALINK 相模原 I）に開設。約 400 坪のフロアに FA 装置、協働ロボット、産業用ロボットなどの実機を備え、研修講師 5 名体制で、1 チーム最大 30 名の研修生を受け入れることが可能です。また、GLP 相模原が運営する食堂、売店、コンビニ、カフェテリアなども併設されているほか、テニスコートやバスケットコートなどの運動施設も利用することが可能で、研修環境としても最適です。今後は立地条件を活かし、自動搬送設備等の研修環境を整えるとともに、同施設内におけるフィールドエンジニアサービス拠点としての機能強化を図る方針です。

当社は今後も、お仕事をお探しの方、就業中のスタッフの方にキャリアサポートをはじめ様々な取り組みを進めながら就業機会の創出を図るとともに、人材活用を検討する企業の多様なニーズに応えて参ります。

【関東テクノセンター 概要】

名称 : 関東テクノセンター

所在地 : 神奈川県相模原市中央区田名字赤坂 3700-1 GLP ALFALINK 相模原 I

【参考サイト】

ロボット／設備エンジニア情報サイト

<https://nikken-hozen-mainte.jp/>

【日研トータルソーシング株式会社 概要】

設立 1981 年 4 月

本社所在地 東京都大田区西蒲田

代表者 清水 浩二

事業内容 総合人材サービス

業務請負事業／人材派遣事業／人材紹介事業

ニュースリリースに関するお問い合わせ先

日研トータルソーシング株式会社 広報ユニット

〒144-0051 東京都大田区西蒲田 7-23-3 日研第一ビル

TEL:03-5711-6482 mail:info@nikken-ts.jp